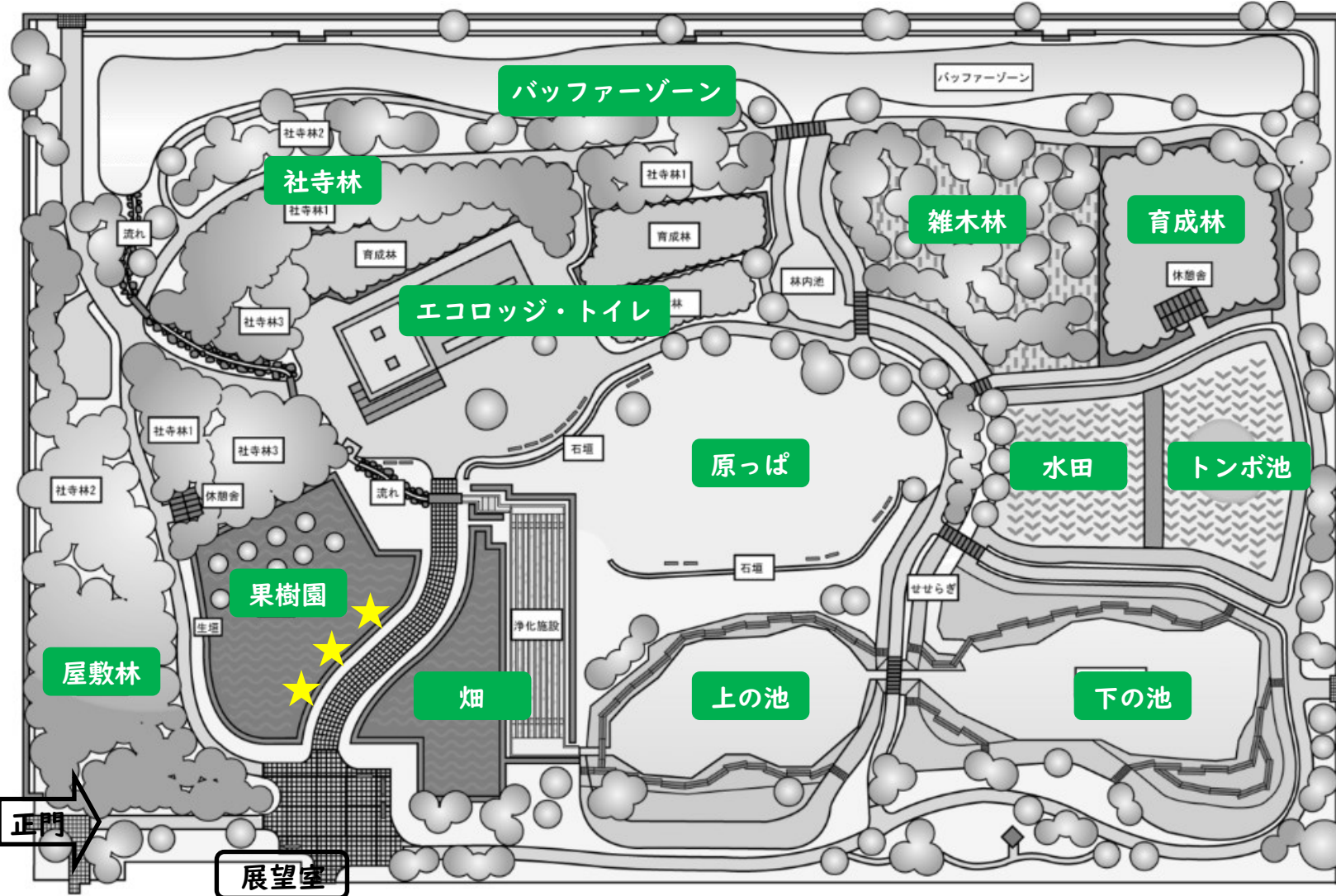


生態園マップ～2022秋編～

- 季節のできごと
- ・社寺林や育成林にはたくさんの種類の樹木があり、いろいろなドングリが落ちています。
 - ・蝉時雨から虫時雨へ。キリギリスや、コオロギ、マツムシなど合唱が始まっています。
 - ・原っぱや道沿いは樹木より少し早く、草紅葉が楽しめ、エココログサ、ススキ、イヌタデ、イネ、ヘクソカズラ、クサギなど日々変化していきます。



実りの秋 カラタチ



5月頃



10月頃

中国原産で、高さ3mほどになる落葉低木。4～5月、葉が展開する前に香りのある白い花を咲かせます。花びらと花びらの間が広くあいている、可愛い花です。枝には、太くて鋭い刺が付いています。夏には緑色の果実ができ、10月頃には黄色に熟します。直径3～5cmの球形で、果肉は香りがよいのですが、苦くて種子が多く、食用には不向きです。葉っぱは、アゲハチョウの食草になります。

左図★印にカラタチが植えられています

あき せいたいえん
秋の生態園

せいたいえん あき の あき しよくぶつ かじつ とり い もの ちそう みみ す おと き
生態園の秋は、“実りの秋”でもあります。植物の果実は、鳥や生き物たちのご馳走です。また、耳を澄ますとイロイロな音が聞こえてき
むし な こえ とり くさばな は ふ あ おと しぜん ねいろ かも ふんいき いや
ます。虫の鳴き声や、鳥のさえずり、草花の葉が触れ合う音など、自然の音色が醸し出す雰囲気にとちょっと癒されてみませんか。

アキアカネ



からだ う か おぎ
アキアカネの体は、羽化したときは麦わらのよ
いろ ど こ い
うな色をしています。30度を超える場所では生き
なつ あいだ やま ひしょ あき からだ
られないため、夏の間は山へ避暑。秋になり体
あか へいち かえ
が赤くなってから、平地に帰ってきます。

ハネナガイナゴ



はね ふくぶせんたん おお こ とくちょう
翅が腹部先端を大きく超えるのが特徴のイナゴ
ごろ げきげん さいたまけん
です。1960年頃から激減し埼玉県レッドデー
じゅんぜつめつきぐいちるい してい
ブック 準絶滅危惧I類に指定されています。

モズ(百舌鳥)



あき ふか
「キーキーキチキチキチ」秋が深まると
すど ちょうせんてき かなだか な こえ き
モズの鋭く挑戦的な甲高い鳴き声が聞こえ
あらせ あらそ あき お
てきます。モズのなわばり争いです。秋の終
あらせ お わ ふゆ
わりには争いも終わり、モズは1羽きりで冬
わか
を迎えます。

き
ドングリのなる木

か じゅもく かじつ そうしょう み いちぶ ぜんたい かくと よ わん おお
ドングリとは、ブナ科の樹木になる果実の総称です。実の一部または全体を殻斗と呼ばれる、お椀のようなものに覆われている
とくちょう いちばんそとがわ かた かわ か ひ しぶかわ しゅし たね かにく かじつ
のが特徴です。一番外側の堅い皮は果皮で、渋皮のなかに種子があります。ドングリは種そのものではなく、果肉のない果実なので
はる かい かじゅふん とし あき み ねんなり よくとしあき み ねんなり せいたいえん
す。春に開花受粉し、その年の秋に実をつける1年成と、翌年秋に実をつける2年成などがあります。生態園では7つのドングリ(マ
テバシイ・コナラ・シラカシ・アラカシ・クヌギ・スタジイ・クリ)を見つけることができます。

シラカシ



ふゆ きせつふう ふせ ぼうか
冬の季節風を防いだり防火
むかし じんじゃ やしき
のために、昔から神社や屋敷
う
のまわりに植えられてきまし
もくざい しろ
た。木材が白っぽいのでシラカ
み ひかくてきいろ こ
シですが、実は、比較的色が濃
おお ふく
く、タンニンを多く含んでいて
しぶ
渋いです。

コナラ



みき まき
幹は薪にしたり、シイタケのホ
き お ぼ すいてん す こ
ダ木に、落ち葉は水田に鋤き込
ひりょう りょう み
で、肥料に利用されます。その実
は、シラカシのドングリとよく似て
かくと もよう
いますが、殻斗はうろこ模様(鱗
もよう
片:りんぺん)です。うろこ模様は
ほか
他にマテバシイがあります。



CESSチャンネル
(Youtube)

